

ダニ対策

ダニの被害にあいやすいのが寝具類がダントツでトップ⇒ふとんを日干ししていませんか、シーツやカバーの洗濯を怠ると要注意

畳やジュウタンにもダニはひそみやすく、ゴミ・ホコリ・フケ・食べ物のカスなどの汚れをためたり、室内の換気を怠ったりすると要注意です。

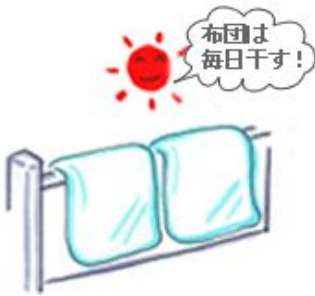
布製ソファ・ぬいぐるみ・押入れなど也要注意。

カビを生やすとダニの格好のえさになるので、カビが発生しやすい場所も注意しましょう。



★ふとん

1.ふとんは毎日干す。黒い布をかけるとさらに効果的。



日光に干すと、ダニの繁殖条件である湿度を減らし、エサとなるカビなどの発生も防げます。そして、1日干しただけでは死なないダニも、毎日干して乾燥した状態を保てば、確実に減らすことができるのです。

天気がよく、乾燥した日の午前10時30分～11時ぐらいから午後2～3時ぐらいの間に、日当たりがよく、風通しがよい場所に干しましょう。

朝早くから夕方遅くまで干していると、かえって湿気を吸ってしまうので要注意。

2.干せないときは ふとん乾燥機や除湿機を利用して乾燥させる

ふとん乾燥機には、ふとんをすっぽりくるんで加熱乾燥するタイプと、ふとんとふとんの間に挟んで使うタイプがありますが、くるむほうが ふとん全体にまんべんなく熱風がいきわたるので効果大です。



3.定期的に丸洗いをしましょう。

シーツと違って、簡単に洗えないふとんの場合は、長く使えば使うほど、ダニの数が増えてきます。ふとんの表面のダニは日光消毒などで ある程度減らすことができますが、中綿に入りこんだダニまでは なかなか取りきれません。こうしたダニを除去するには、専門業者に頼んで ふとんを丸洗いしてもらうのが一番。丸洗いをすれば、80%以上のダニアレルゲンを取り除けるうえ、ふとんにしみついた汚れやニオイも取れるので清潔に保てます。また、最近は ダニを通さない緻密なフロンカバーも市販されているので、丸洗いたあとで このカバーを取り付けると、いっそう効果的です。

4.たたいても効果なし。干したあとは掃除機をかける！

ふとんを干した後にパンパンたたくと、中に入り込んだダニも取り除ける気がしますが、実際にはほとんど効果がありません。かえって、飛び散ったダニや死骸、フンなどを吸い込む恐れもあります。

それよりも、干したあとにはふとんに掃除機をかけて、表面や生地の中にひそむダニを吸引しましょう。ノズルを軽く浮かしぎみにして、丁寧にゆっくり往復させながらかけるのがコツです。



★じゅうたん

1.ダニ防止には、素材や敷き方も工夫する。

素材は、ウールより化繊がおすすめ。ウールに比べて含水量が少ないので、ダニが繁殖しにくいのです。

織りと、基布にパイル(じゅうたんの毛)をゴムで張りつけたタフテッドがありますが、織りのほうが通気性にすぐれています。

パイルの形にはカットタイプとループタイプがあり、ループタイプの方が通気性がよく、毛がつぶれにくいなどのメリットがあります。

2.じゅうたんの敷き方の注意として、部屋いっぱいに敷き詰めないこと。



ひと回り小さめのものを敷いて家具を上に置かないようにすれば、じゅうたんの下の掃除がラクになります。

3.最近ではタイルカーペットという30cm～50cm角の小さいじゅうたんも出回っています。

これを組み合わせて敷きこむ方法をとれば、はずしたり敷きなおしたりが簡単なので オススメです。



★たたみ

1.防ダニシートを敷いて定期的に取り替える

ダニのすみかになりやすい畳は、日ごろから部屋の通気をよくし、ひんぱんに掃除機をかけることが大切です。

掃除機はたたみの目に沿って1畳あたり30秒ぐらいかけ、年に2～3回は たたみを上げて畳床や畳裏にもかけましょう。

さらに可能であれば、ベランダなどに出して日干しすると、より効果的です。

また、防ダニシートを畳床に敷けば、ダニの繁殖を防ぐことができます。

2.ひどいダニの場合は、防ダニシートで畳をサンド

ダニがひどい場合には、畳床だけでなく、畳の上にも防ダニシートを敷いて、上と下からサンドイッチにすると効果大。シートの上には、ゴザなどの上敷きを敷いて、1～2週間放置しておきます。

1.ぬいぐるみの洗えないものは ポリ袋に入れてたたく

子供がぬいぐるみを抱いて遊ぶので、よだれや汗などがたくさんつき、これがダニのエサになります。ときどき丸洗いするか、洗えないぬいぐるみの場合は、大きなポリ袋に入れ、袋の口を閉じてよくたたき、ダニやフン、ホコリなどを表面に浮き出させたあと、掃除機をかけて吸い取りましょう。部屋の中でたたくと、せっかく落としたダニを再びまき散らすことになるので、必ず屋外でやること。また、作業にとりかかる前に日干しをしておくと、より効果が上がります。



2.観葉植物はできるだけ室内に置かないこと

水やりをすると室内の湿度が上がり、また、葉には意外とホコリがたまりやすいので、これがダニのエサになるからです。室内に観葉植物を飾ると心がホッとごむものですが、これもダニを繁殖させる原因になります。なぜなら、どうしても室内に飾りたいのなら、まめにホコリを取り、水やりは屋外でしましょう。軍手をはいてやさしくなできるようにしてふくと、葉を折り曲げてしまうこともあります。



3.洗濯物はできるだけ、室内に干さないこと

部屋の中に洗濯物を干すと、室内の湿度が上がり、畳やじゅうたん、寝具などが湿っぽくなる原因となります。ダニにどうぞ繁殖してください、と言っているようなものです。どうしても室内に干さざるを得ないなら、浴室・板の間・廊下などダニがもぐり込める場所がないところで干すか、除湿機で除湿しながら・・・をオススメします。